

平成 28 年度第 5 回岩倉市教育振興基本計画推進委員会議事録

1 日時 平成 29 年 2 月 14 日 (火) 午後 3 時～

2 場所 岩倉市役所 第 2・3 委員会室

3 出席者

| | |
|-----------------------------|-------|
| 愛知教育大学教授・附属名古屋小学校長 | 土屋 武志 |
| 岐阜大学地域協学センター長・教授 | 益川 浩一 |
| 岩倉中学校 P T A 会長 | 成瀬 匡樹 |
| 南部中学校長 | 高橋 宏滋 |
| 日本語・ポルトガル語適応指導教室室長 (岩倉南小学校) | 村瀬 英昭 |
| 学校栄養職員 (岩倉南小学校) | 金成 淳子 |
| 音楽担当教諭 (岩倉中学校) | 熊木 夕子 |
| 体育担当教諭 (南部中学校) | 鬼頭 功一 |
| 文化財保護委員会 委員長 | 中山 春義 |
| 文化協会 副会長 | 青木 豊 |
| 社会教育委員の会議 委員長 | 内藤 和子 |
| 体育協会 理事長 | 永井 可元 |
| スポーツ少年団 本部長 | 今井 秀明 |
| スポーツ推進委員 委員長 | 武藤 栄司 |
| 岩倉幼稚園 園長 | 町田 竜介 |

(欠席者)

| | |
|---------------------|--------|
| 五条川小学校 P T A 会長 | 井上 貴文 |
| 五条川小学校長 | 戸田 清徳 |
| 特別支援教育担当教諭 (岩倉東小学校) | 奥村 寿英 |
| 婦人会 会長 | 寺澤 陽子 |
| 図書館協議会 副会長 | 小杉 美智子 |

(事務局)

| | |
|-----------|-------|
| 教育長 | 長屋 勝彦 |
| 教育こども未来部長 | 長谷川 忍 |
| 学校教育課長 | 石川 文子 |
| 管理指導主事 | 有尾 幸市 |
| 学校教育グループ長 | 佐野 亜矢 |
| 学校給食グループ長 | 神山 秀行 |
| 生涯学習課長 | 竹井 鉄次 |
| 生涯学習グループ長 | 中野 高歳 |

図書館長
スポーツグループ長
子育て支援課長

寺岡 秀樹
新中須 俊一
富 邦也

(計画策定支援業務受託者)

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

江口 陽子

(傍聴者)

なし

4 会議内容

午後3時 開会

(開会)

○事務局・学校教育課長

こんにちは。定刻前ではございますが、ただいまより第5回岩倉市教育振興基本計画推進委員会を開会させていただきます。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。本日進行を務めさせていただきます学校教育課長の石川です。本日は、井上委員、戸田委員、奥村委員、寺澤委員、小杉委員の5名の方からご欠席の連絡をいただいております。

それでは、教育長の長屋勝彦よりごあいさつ申し上げます。

(教育長あいさつ)

○教育長

こんにちは。大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年の成人式の1週間後に市に投書が来ました。「私の息子には障害があります。地域から離れたくないという思いから、悩みに悩んだ末に地域の小学校の特別支援学級に入学させました。その当時はそれが良い選択だったのかは分かりませんでした。地域の人に見守られながら6年間通う事ができました。中学校からは専門の養護学校に通う事になり、地域離れを残念に思っていました。それから8年経ち、成人式を迎えました。地域から離れていても成人式の参加はハードルが高く、出席させてやりたい気持ちと不安が入り混じっていました。そんなところに近所の同級生が迎えに来てくれるとの連絡が入りました。悩み倒して通わせた6年間があったからこそ、こんな素晴らしい日が訪れたのだなあ、と、目頭が熱くなりました。岩倉市の地域性、お友達に感謝でいっぱいです。まだまだ障害者が生きていくには厳しい世の中ですが、ほんの少し温かい気持ちになりました。岩倉市ではこんな素晴らしい子たちが成人しましたよ、と、皆様に知っていただけたらと思います、投稿させていただきました。」という文章です。心が温かくなる、嬉しい投書でした。子どもたちが心豊かに、優しくたくましく成長してくれることは、私のいつも願うところですが、岩倉市の子どもたちがそのように育ってくれたのだと思いました。

この推進委員会の皆様におかれましては、1年半にわたって岩倉市の教育振興基本計画を検討

していただき、幅広い視点で細部にわたりご提言をいただくことになりました。このご提言については大切に受け止めながら、これからの教育施策の中でしっかり実現できるよう、また、細かい言葉の中に込められた意味も十分理解しながら、大事にしていきたいと思えます。皆様への感謝の気持ちを込めてお礼のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございます。

○事務局・学校教育課長

それでは、次第3から議題に入りますので委員長よりごあいさつをいただき、その後の議事、進行をお願いいたします。

(委員長あいさつ)

○委員長

こんにちは。今日が推進委員会の今年度最後の会合となります。今日はでき上がったものを確認して、最終的に合意するという会議になると思います。岩倉市の会議はいつ来ても心が温まる感じを受けました。会議の中には鋭い質問、提案もたくさんありましたが、市民の方々が集まり、発せられる言葉に岩倉市の未来を考える温かさを感じました。教育長のスピーチのように、本日もこの会議を温かな気持ちで進められればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○副委員長

今日は確認の会議だと思っております。よろしくお願いいたします。

(協議事項)

(1) パブリックコメント意見への対応について

○委員長

それでは早速議題に移ります。議題(1)パブリックコメント意見への対応について、事務局から説明願います。

資料1に基づきパブリックコメント意見への対応について事務局より説明

○委員長

資料1ではパブリックコメントの意見として8件記載されています。それらに対して市の考え方の回答がありますが、今回の教育振興基本計画を修正する必要がある課題は見当たらず、推進計画の提案はこのまま進めさせていただきたいという事です。いかがでしょうか。

確かに読んでみると、具体的に変更を望むご意見ではなく、全般的に要望のようなご意見が多いようです。それらはむしろ今回の推進計画によってカバーされるという事でよろしいでしょうか。

では、議題2に移ります。

(2) 岩倉市教育振興基本計画（案）について

資料2に基づき岩倉市教育振興基本計画（案）について事務局より説明

○委員長

前回、修正等が必要な所を宿題として事務局にお返しし、今のように変更、修正され、確認として説明いただきました。ご質問、ご意見はございますか。

特にご自身に関わる部分、ある意味関係の深い所を確認いただいたと思います。それでは文言の修正、字の間違い、表記の異なりなどのお気づきの点があれば事務局にお伝えください。また、事務局でも最終的なチェックをお願いします。

岩倉市教育振興基本計画の案についてご了承いただけるでしょうか。特にご意見が無いようですので、岩倉市教育振興基本計画につきまして、この場で採択させていただきたいと思います。ありがとうございました。

これからが今日の本題になります。(3) 計画の推進・点検及び評価（案）について、策定後にどう生かして進めていくのか事務局より説明願います。

(3) 計画の推進・点検及び評価（案）について

資料3に基づき計画の推進・点検及び評価（案）について事務局より説明

○委員長

今の説明にあったように、この委員会が岩倉市教育振興基本計画の推進委員会という事になり、次年度もこのメンバーで継続する形です。1年ごとに評価部会が評価を行い、それをこの委員会に提案するという事です。

○事務局

スケジュールとしては、年度末頃に委員の皆様全員に集まっていただいて、1年間行ってきた事業内容をご報告させていただきます。例えば29年度1年間が終わった平成30年の3月頃に集まっていただいて、29年度教育委員会の活動、30年度の活動目標、計画を提示します。なお、点検、評価については9月の議会に報告することとなりますので、年度末の報告後、夏あたりに評価部会委員の方に集まっていただき、点検、評価のうえ報告書をまとめていただく事になります。

○委員長

ご質問、ご意見はございますか。

○副委員長

年度末にその年度に行った事と翌年度の計画を推進委員会で確認し、年度が明けてから前年度の評価を評価部会で行うという流れですね。その後のオーソライズは評価部会で行うのか、ある

いは再度全員で集まらないにしても、推進委員会でオーソライズするのか、いかがですか。

○事務局

点検、評価の対象が 88 施策ありますので、評価部会委員の皆様に一任する形でご了承いただきたいです。

○副委員長

それでいいとも思いますが、集まらなくても報告という形で推進委員会に報告するようにしてもいいかと思えます。他の部署のやり方も含めてコメントいただければと思います。

○委員長

最終的には教育委員会で決裁ですか。

○事務局

そのとおりです。推進委員会として点検、評価をいただいて、教育委員会として議会に報告をします。

○委員長

本計画では数値目標もいくつか出されています。自分で首を絞めてしまっていますが、この目標についても評価しなければなりません。市民を含め、みんなで一緒に推進していく事になるので、ある意味、自己評価・自己点検という形で推進委員会として関わっていければと思います。

○副委員長

A～Dまでの4段階評価を88の具体的な施策においてそれぞれ行う事になると思いますが、施策の方向性は報告書のイメージを見るとA～D評定はせずに、各具体的な取組内容の評定成績を踏まえて方向性全体を評価した文章を書くような記載の仕方でしょうか。

○事務局

具体的に行った事を文章で記載します。その年の内容の取組を書いて、それが顕著な効果が認められたならばA判定、まだ不足しているということであればC、Dになってくるかと思えます。これはイメージなので評価報告書の内容についてまだ検討の段階です。

○副委員長

基本的にはA～Dの評定を付けるのは具体的な取組内容についてであり、方向性については文章で表現するというようなイメージでいいということでしょうか。

○委員長

方向性というのは施策1、2、3など全部で22の方向性ということですか。88の取組はここにあるものですね。

○事務局

方向性は各基本目標に対して、3、4ほどあり、それらを全て集めると22になります。

○委員長

教育予算との連動はどうなっていますか。各施策に対応する事業があると思います。その事業予算が評価によって変化するのか、その部分のリンクは考えられていませんか。

○事務局・教育こども未来部長

今の所、別としています。評価を9月にしていただければ、そこから次年度の予算編成に入りますので、ご意見等いただければ反映可能です。

○委員長

本計画により、教育委員会でやる事業を紐づけしていく必要が出てきます。それを評価した結果、より推進していかなければならないのかどうかという事も含めて評価をすることで、基本計画が生きてくるのではないのでしょうか。

○事務局・教育こども未来部長

岩倉市の予算の段階では、総合計画の柱を意識して割り付けています。今後、教育振興基本計画が動いて参りますので、そういうことを意識した実施計画、予算要求になると思います。

○委員長

そういう時に評価結果が重要です。事務局である程度A～Dの基準値を持って行われると思います。

○副委員長

総合教育会議との関係性はどうなりますか。報告するような形になるのでしょうか。

○教育長

総合教育会議は昨年度から開始しましたが、教育委員会の課題や報告も行っていますし、教育委員会も自由に意見をいただきたいという話もしています。総合教育会議とも同じ気持ちで行動できると思います。

○委員長

普通の計画はつくって終わりですが、その後も推進していく組織になっていくということです。本来は必要な動きだと思いますが、他の地域に比べても珍しいと思います。そういう意味では岩倉市はモデルになるのではないのでしょうか。しかも、市長部局とも連携しながら教育委員会が責任を持って、計画を策定した市民も含めて教育施策を推進していきます。しかも評価、点検もしっかり組み込んでいくという、非常に先進的な取組になるのではないかと思います。

○副委員長

市民アンケートも行って作成した教育振興基本計画なので、評価の段階に市民参加をどう入れるか考えておいた方がいいと思います。年度ごとの評価を行われると思いますが、どこかの段階で中間評価を総括的に行ってリニューアルや手直しをするようなことを考えてもいいと思います。ほとんどの評価が「〇〇を実施しました」で終わらない形だと理解しています。どういう具体的な成果があったか、教育的な成果というのは数字だけで表せず書きにくいですが、理念的に言うと子どもの成長発達にどういう成果があったか、教育的な意味があったのか、という所まで書き込めると評価らしい評価になると思います。

大学も様々な補助金を受けて取組を行っていますが、「〇〇を実施した」、「数値でこれだけ達成した」だけでは済まず、どれだけ学生の教育に影響があったのか、学生の学習行動にどう変化があったのか、アウトカムの評価まで記載しないと納得してくれない状況もあり、苦勞しています。そのあたりまで含めて踏み込んで記載できるといいと思いますので、要望としてお伝えいたします。

○委員長

あまり拘り定規にならずに、先ほどの教育長のように寛容性を持ちながら、ポジティブに推進していく形を取っていければと思います。岩倉市の「まちづくり人」というクリエイティブな形での市民参加という意味では、単純な批判とは違うまちづくりになると思います。評価については、機械的に行うよりも、方向性を持った評価が大変難しいという事を先生はおっしゃられたと思います。

○事務局・教育こども未来部長

計画は10年計画ですが、33年には大きく見直しを行いたいと考えます。数値目標の一部はアンケートの満足度などを目標にしているものもあります。他の事業も、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」からも言われているように、結果ではなく成果を重視しながら評価を加えていきたいと思います。そういった意味ではそれぞれの具体的な取組内容は終わりが無いものばかりなので、A判定であっても完結することはないだろうと思います。評価結果で計画通り進められ、顕著な効果が見られたものであっても、まだまだ行っていかなければならないことは多くあると思います。

教育大綱は、本計画の基本計画の方向性までとしています。併せてパブリックコメントも大綱と計画で合わせて実施しました。来週、総合教育会議を予定していますので、そこでも諮ってまいりたいと思います。

○委員長

よろしいでしょうか。それでは計画の推進、点検及び評価の案について原案通りで進めていくという事で了承いただけますか。ご意見ないようなので原案通りという事でよろしく願いいたします。

○副委員長

国では第3期の教育振興基本計画の策定が始まっており、方向性も出されています。

文部科学省の生涯学習政策局の政策課長ともお話する機会がありましたが、第3期は国も少し幅広い形で教育振興基本計画を策定していきたいという事でした。例えば生涯学べる環境づくりも柱のひとつに入ると議論されているそうです。国の動きも視野に入れながら、評価、あるいは計画自体をどうしていくか、という議論がその評価の中でできればいいと思います。その動きを押さえておいて下さい。

○委員長

文部科学省で今度、小中学校の学習指導要領の案も出てきていると思います。パブリックコメントも含めて中央教育審議会の答申からは、先生方が忙しさにパンクしている状況を踏まえ、学校だけではなく、地域と連動、協働して子どもの学びを支えていくという動きが出ています。市の体育協会、文化協会、地域の団体、その他の方々などが学校教育にどう関わっていくかということです。我々が作った教育振興基本計画はそういう所も踏まえた最新のものになっていると思います。あるいは、自分たちが充実していくための楽しめる学び、生涯の学び、生涯教育を岩倉市で実現していくと、岩倉市に人が集まり、発展するまちになると思います。

議題が特になければ終わりたいと思いますが、その他にご意見はございませんか。それではこれで議事を事務局にお返しします。

○事務局・学校教育課長

ありがとうございました。本委員会では2か年に渡る審議を行っていただきました。案をまとめていただくことができましたので、委員を代表しまして委員長から教育長に計画案をお渡ししたいと思います。

委員長から教育長に計画案の提出

○事務局・学校教育課長

委員の皆様から、一言ずつお話していただけるとありがたいです。

○委員

ありがとうございました。幼稚園、保育園、認定こども園と、平成27年から子ども・子育て支援制度に変わり、幼稚園の機能に加えて保育園の機能を持たせ、岩倉市と協力しながら子どもたちが住みやすい、お母さん方が働きやすいまちに向けて勉強中です。幼稚園、保育園と協力しながら認定こども園を進めていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

○委員

スポーツの事を文章にして表すには伝えきれていないという気持ちと同時に、それは仕方ないという気持ちもあります。あくまでも実際の活動で表していきたいと思います。

○委員

ありがとうございました。いつもはスポーツばかりですが、出席させていただいて様々な意見が聞けました。今後ともよろしく願いいたします。

○委員

体育協会の中にいますが、スポーツ推進委員も経験があります。青少年の育成にも努めていくという事で、少しでも岩倉市のためになればと思い、参加させていただきました。微力ですが、今後ともよろしく願います。

○委員

この会議に伺って新たな発見もしました。長い間、社会教育委員としてお世話になっている中で、最初はなんとなく学校と地域の壁を取り外そうという感覚でいたものが、今は取り外すのではなく協働、一緒に行っていくということになります。同時に学校と地域と家庭などとのつながり、あるいはお父さんたち、会社、企業なども含めて、もっと広い意味での協働があって然るべきではないかと、微力ながら感じだしたところです。いろいろ勉強させていただき、ありがとうございました。

○委員

最後に委員長からお話がありましたが、今後は学校教育だけではなく、文化協会との協働、市民協働の活動をしていきたいと思えます。よろしく願います。勉強になりました。ありがとうございました。

○委員

こうした会議に初めて出席させていただきました。文化財委員として感想を述べさせていただきます。岩倉市では山車を代表に、岩倉城跡など多くの史跡があります。様々な行事を行っていただいております、それをこれからも続けていくためには、例えば参加者の増減をどのように掴んでいくか、どうしたら多くの方に参加していただけるようになるのか具体的に審議していけたらいいと思えます。こういった機会を与えていただいて、ありがとうございました。

○副委員長

いろいろな自治体に関わらせていただきましたが、私が行う生涯学習分野、社会教育の分野はどうしても教育振興基本計画の中に大きく位置づかないという傾向があります。このような中、部会も同等につくっていただき、しかも社会教育の関連分野、文化財、文化振興、スポーツ、体育も含め、幅広い形で委員の方も選んでいただいて、議論できたことが良かったと振り返っています。先ほどからご意見があるように、これからは、「地域とともにある学校」という形でますます連携、協働が進められていくものと思えます。非常にバランスよく議論させていただいたのが印象深い委員会でした。いいものができたので、ぜひ評価も進めながらしっかりと推進できればと思えます。皆様ありがとうございました。

○委員長

私は何度もごあいさつさせていただいております。岩倉市は心が温かいという事です。「まちづくり人」を育てていくということで、今回仕事をさせていただきました。ありがとうございました。

○委員

娘が中学校3年生で、今年度でこういう役職は終わってしまいます。今後は地域の一員として、岩倉市の教育に携わっていければいいと思います。ありがとうございました。

○委員

会議中に委員長が、こういったものはつくただけで終わってしまうが、岩倉市はそうではないというお話があって素晴らしいと感じ、うれしくなりました。しっかり点検、評価、改善がされるということです。それが成果主義を超えたところで話題が展開されている方がいいな、と思います。教育振興基本計画を基に、教育についての夢を語りあうような場になっていくと嬉しいです。

○委員

来年度の4月の段階で、本市には19か国くらいの多国籍の児童生徒が暮らすことになると思います。今までと違った新たな課題が多く出てきており、少しの問題が深刻なものになることもありますので、地域の方にも支えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員

いつも給食をつくっている立場なので、「食」「食べる」という狭い部分しか見えていませんでした。この会議に参加させていただいて、いろんなことが勉強になりました。私は食を通して、将来ある子ども達の体だけではなく、心も健康に育てていきたいという思いがありますので、今日ここで勉強したことをこの先も生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

○委員

岩倉に勤めて10年目で貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。またどこか違う所に行っても、ここで学んだことを生かせればいいと思います。

○委員

ありがとうございました。勉強になり、これからの教員生活に生かせたらいいと思います。これから10年、自分も考えたこの教育振興基本計画の中で、自分が子ども達を育てていく事を思うと胸が弾みますし、10年後に子ども達はどうなるのか楽しみな、希望を抱く気持ちで参加させていただきました。ありがとうございました。

○事務局・学校教育課長

ありがとうございました。それでは今後の予定を申し上げます。本日の議事録は後日配布させていただきますので、ご確認ください。計画は最終確認後に印刷作業に入ります。3月中旬に冊子として完成し、完成次第、委員の皆様へ配布いたしますので、よろしくお願いいたします。今後は計画の推進をお願いをしていこうと思います。

2年間にわたり審議いただきました、教育振興基本計画の策定に関わる委員会を終了させていただきます。

午後4時15分 閉会